

学校代表として、他に引けを取らない発表をしてくれました。

全国中学ビブリオバトル東京大会 参戦 12月1日(日)



本校では、『授業活用や読書啓発活動により、学校図書館活用を推進することで、学習意欲の向上を図る』ことを学校経営方針の5つの柱の一つに掲げ、本に触れる機会の充実を図っています。今月も12月2日から20日までの期間で校内「読書マラソン」を開催しています。また、各教職員からの生徒向け書籍紹介「八幡中おすすめ本」を掲示します。そうしたなか、先月18日(月)の「校内ビブリオバトル」でチャンプ本に選ばれた「ショットガン・ナウル」を紹介した渡辺日奈さんが、読売新聞社主催の「全国中学ビブリオバトル東京大会」に、本校の代表として参戦してきました。

12月1日(日)、九段下にある「ベルサール神保町」を会場に、東京近郊の中学校の代表20名によるビブリオバトルが行われました。はじめに3～4名に分かれて予選を行ない、各組で勝ち上がった6名により決勝戦を行ってチャンプ本を決定します。そこでの上位2名は京都で行われる第8回全国中学ビブリオバトル決勝大会の出場権(シード権)を手に入れます。

予選①グループ

発表順	発表者	著書名(著者)
1	渡辺日奈	ショットガン・ナウル(三月みどり)
2	千葉県から	一九八四(ジョージ・オーウェル)
3	埼玉県から	夏への扉(ロバート・A・ハインライン)
4	神奈川県から	ふしぎ駄菓子屋 銭天堂(廣嶋玲子)



渡辺さんは、予選①グループで抽選によりトップバッターで発表、結果は惜しくも予選敗退となりましたが、他のバトラーに引けを取らないすばらしい発表内容でした。その後、決勝戦にオーディエンスとして参加、同じ中学生の発表を楽しく観戦しました。そのプレゼンテーションの仕方から様々なヒントを得ることができ、有意義な大会参加となりました。

「校内ビブリオバトル」の再開により、読書や発表活動へ興味や関心を持つ機会となり、今回のような大会への参加にもつながりました。これからも、校内に様々な活動のチャンスがあり、そこから自分の良さを発見したりそれを発揮したり、文化的な楽しみを味わうことができる八幡中でありたいと思います。